

○事前 「友達とのかかわりについて」アンケート調査（4～6年生 共通）

【自己信頼】【対人不安】

◎第1回 理解と体験/素敵な頼み方・断り方

説明

コンプリメントシャワー（ペア）

アサーション体験

素敵な頼み方・断り方

ふりかえり

◎第2回 友達編

コンプリメントシャワー（ペア）

例題・場面1・場面2・場面3

ふりかえり

◎第3回 家族編

コンプリメントシャワー（ペア）

例題・場面1・場面2・場面3

ふりかえり

◎第4回 先生編

コンプリメントシャワー（ペア）

例題・場面1・場面2・場面3

ふりかえり

◎第5回

コンプリメントシャワー（グループ）

コンプリメントメッセージプレゼント（褒め言葉） 全員

◎第6回

コンプリメントメッセージを完成させる

アサーション学習の振り返り

○事後（4～6年生 共通）

「ココロのお天気」アンケート調査

「友達とのかかわりについて」アンケート調査

「学校の魅力について」アンケート調査

第1回 説明→コンプリメント→理解と体験→素敵な頼み方・断り方→振り返り

活動	教師のはたらきかけ ・児童の反応予想	留意 など
<p>1、説明</p> <p>2、コンプリメントシャワー 30秒を交互に</p> <p>3、アサーション体験 【場面】 貸していた本を友達から返してもらいました。ところが、その本にあるページはなぜかとても汚れてしまっています。</p> <p>4、素敵な頼み方・断り方 素敵にノートを借りてみよう 素敵に断ってみよう</p> <p>5、ふりかえり</p>	<p>アサーションの説明を行う</p> <p>学級担任と手本を見せる</p> <p>場面を伝えた後、3つの話し方の台本ワークシートを配布し、コンプリメントのペアでアサーション体験をさせる</p> <p>それぞれを体験した後、どんな気持ちになったかを話し合わせる</p> <p>学級担任とのやりとり例を見せる アグレッシブな例を見せ、どのようにすれば素敵な頼み方になるか考えさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今いい？ と確認する ・～中にごめんね と断りを入れる ・今～で困っていて ときちんと説明する <p>*素敵な頼み方/断り方のキーワードをワークシートで提示する。</p>	<p>留意 など</p> <p>相手を大事にするために、相手のことをよく見る必要があることを伝える</p> <p>3つの話し方を区別するため 呼称を 「おどおどさん」 「いばりやさん」 「さわやかさん」 とする</p> <p>素敵な頼み方や断り方は、中学生、高校生、大人になっても使えるものであることを伝える 人間関係をより良くする魔法の言葉であることを伝える</p>

友達編

第2回 コンプリメント→アサーション【友達編】→振り返り

活動	教師のはたらきかけ	留意 など
<p>1、コンプリメントシャワー 30秒を交互に</p> <p>2、アサーション練習【友達編】 ①返し方の例を見て、どの話し方のタイプか、やりとりにどんな影響があるか考える。</p> <p><場面> 昨日、遊ぶ約束をしていた友達が来なかった。しかし今日も何も言わずその友達が遊びに誘ってきた。</p> <p>②どのように返せば自分も相手も大事にできるか考える (アサーション) ワークシートに書く→意見を交換する→発表する</p> <p>4、ふりかえり</p>	<p>学級担任と手本を見せる</p> <p>反応例提示して学級担任とロールプレイを行う 「ねえ、今日遊べる」 ① 「う、うん。いいよ」・・・ ② 「調子いいこと言うなよ」・・・ ③ 「いやそれより、昨日何かあった？」・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>第1回で学んだ素敵な頼み方や断り方を復習し、具体的な場面でのやりとりを考えさせる</p> </div> <p>場面を提示する <場面1>今日の掃除の担当は雑巾なんだけれど、膝が痛いなあ。ホウキなら出来そうだけれど、同じ班員の6年生になんて言おうかな。(頼み方) <場面2>放課後に、友達から「宿題の答えを見せて」と言われた。自分が今日の復習をして一生懸命考えて答えた宿題なのに・・・。(断り方) <場面3>学級会でお楽しみ会の内容を話し合っているが、運動が好きな男子から運動場マラソン大会が提案された。自分は運動がすごく苦手なんだけれどどうやって意見を言おう・・・(伝え方)</p>	<p>留意 など</p> <p>表情や声のトーンなども工夫し、非言語なコミュニケーションであることにも気づかせる</p> <p>意見を交換した友達や発表者の意見の良さを考える ・相手を尊重 ・自分も我慢しない などアサーションの考え方をおさえる</p>

第3回 コンプリメント→アサーション【家族編】→振り返り

活動	教師のはたらきかけ	留意 など
<p>1、コンプリメントシャワー 30秒を交互に</p> <p>2、アサーション練習【家族編】 ①返し方の例を見て、どの話し方のタイプか、やりとりにどんな影響があるか考える。</p> <p><場面> リビングで集めたカードの整理をして過ごしていると、親から「散らかしすぎ！お客さんが来るのよ。早く片付けなさい」と注意された。</p> <p>②どのように返せば自分も相手も大事にできるか考える（アサーション） ワークシートに書く→意見を交換する→発表する</p> <p>【アサーションレベル2】 ペアに相手役になってもらい、その場で返事をしてもらう。その返事に対してさらにどう返すかをワークシートに考えて書く。</p> <p>4、ふりかえり</p>	<p>学級担任と手本を見せる</p> <p>反応例提示して学級担任とロールプレイを行う</p> <p>反応例を提示する</p> <p>① 「はい・・・」 ② 「カードの整理してるんだからいいじゃん！外お客さんとで話せばいいやん」・・・ ③ 「お客さん何分後に来るの？この部屋で続きの作業しててもいい？」・・・</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>これまでに学んだアサーションのコツを確認し、具体的な場面でのやりとりを考えさせる</p> </div> <p>場面を提示する</p> <p><場面1>今日の風呂掃除の当番は自分なんだけれど、友達とオンラインゲームの約束をしていて、一時停止はできないんだよな。代わりに親にしてもらいたいな。（頼み方）</p> <p><場面2>友達と遊びに行こうとしたら、幼い弟が「僕も行く」と言ってきた。走ったり、ボールで遊んだりするから、常に弟の面倒は見られないんだよな・・・。（断り方）</p>	<p>留意 など</p> <p>表情や声のトーンなども工夫し、非言語なコミュニケーションであることにも気づかせる</p> <p>意見を交換した友達や発表者の意見の良さを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重 ・自分も我慢しない <p>などアサーションの考え方をおさえる</p> <p>要求が通らなかった場合にも、どんなことができるか考えさせる。</p> <p>（例：友達に、弟のことを正直に伝え遊びを断るなどもアサーションであること）</p>

第4回 コンプリメント→アサーション【先生編】→振り返り


活動	教師のはたらきかけ	留意 など
<p>1、コンプリメントシャワー 30秒を交互に</p> <p>2、アサーション練習【先生編】 ①返し方の例を見て、どの話し方のタイプか、やりとりにどんな影響があるか考える。</p> <p><場面> 学級掃除の後、先生から「トイレのスリッパが揃っていない。やり直してきなさい。」と注意された。</p> <p>②どのように返せば自分も相手も大事にできるか考える (アサーション) ワークシートに書く→意見を交換する→発表する</p> <p>【アサーションレベル3】 ペアに相手役になってもらい、その場で返事をしてもらう。その返事に対してさらにどう返すかその場で考えて伝える。</p> <p>4、ふりかえり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>次回のコンプリメントメッセージの予告をしておく</p> </div>	<p>学級担任と手本を見せる</p> <p>反応例提示して学級担任とロールプレイを行う</p> <p>反応例を提示する</p> <p>① 「え～、揃えたはずなのに・・・」 ② 「なにそれ、なんで自分たちが!？」 ③ 「揃えてから反省会をしたので自分たちではないと思います。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>これまでに学んだアサーションのコツを確認し、具体的な場面でのやりとりを考えさせる</p> </div> <p>場面を提示する</p> <p><場面1>先日委員会の時間にもらった、放送原稿を無くしてしまった。原稿はどうしても必要なんだけど、無くしたことは言いづらいな。なんてお願いしよう (頼み方)</p> <p><場面2>図工の時間、先生から「Aさんは昨日欠席していたから、他の人より進んでいるあなたが説明してあげて」と頼まれた。確かに進んでいるけれど、せっかくの図工の時間、自分の作品作りも進めたいな (断り方)</p>	<p>表情や声のトーンなども工夫し、非言語なコミュニケーションであることにも気づかせる</p> <p>意見を交換した友達や発表者の意見の良さを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手を尊重 ・自分も我慢しない <p>などアサーションの考え方をおさえる</p> <p>要求が通らなかった場合にも、どんなことができるか考えさせる。</p> <p>(例:原稿を探すように言われたが、なかった場合なんとするか考えること など)</p>

第5回・6回 コンプリメント→振り返り

活動	教師のはたらきかけ	留意 など
1、コンプリメントシャワー グループ内で、1人に対してグループのメンバーから。 2、クラスみんなにコンプリメントメッセージ 3、ふりかえり	今日の活動内容を伝える。 4月からの生活 係活動や委員会、クラブ活動など 修学旅行や運動会などの行事など 様々な場面を想起させて考えさせる	最後のコンプリメントメッセージは、容姿ではなく行動面に着目させる

出席番号で吹き出しの位置を固定しておく

自分の吹き出しはみんなへのメッセージ

1 ()より	2 ()より	3 (大)より	○ ()より	○ ()より	○ ()より
○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より
○ ()より	○ ()より	<div style="text-align: center;">  <p>高知 大</p> </div>	○ ()より	○ ()より	
○ ()より	○ ()より		○ ()より	○ ()より	
○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より	○ ()より

©いらすとや

© OKANO Hideya 2024

参考・引用：『ピア・サポート力がつくコミュニケーションワークブック』岡田倫代

『子どものためのアサーション（自己表現）グループワーク』園田雅代・中金洋子